

事業所名

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス来夢

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

3月

3日

法人（事業所）理念	子どもたちの基本的な生活や将来の自立に向けた生活習慣をサポートします。子どもたちが健やかに育ち、心豊かな生活を送ることができるよう保護者の方と子どもたちに寄り添って心身の成長と発達をお手伝いしていきます。							
支援方針	「多機能方児童発達支援事業所・放課後等デイサービス来夢」は、障害児が日常生活における基本的動作および知識技能を習得し、集団生活に適応することができるよう、また、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流ができるよう支援することを目的としています。特に、児童がリラックスし、ゆったりとした雰囲気の中で過ごせるように余暇活動を中心に、外部での社会交流・体験の機会を提供できるような活動も取り入れます。							
営業時間	9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	手洗いうがいの声掛け、トイレ誘導やロッカー整理などの支援を行います。お弁当の日は洗い物や洗濯物のたたみ方なども将来への取り組みとしてサポートしています。						
	運動・感覚	身体の正しい使い方・道具を使ったときの動き方等、正しく楽しく身に付けられるように支援します。歩行などを見て、足の着き方や筋力の低下部分をサポートしながら個々にあったプログラムを計画し取り組めるようにしています。						
	認知・行動	ソーシャルスキルを身に付けられるようにも支援しています。様々な場所へ出かけることによって、物に触れて体験し、経験を積んで社会性を学び、他者とのふれあいを通じて覚えたルールを守るように声掛けをすることで危険を察知する能力を養っていただけるようにサポートしています。また挨拶からスタートするようにスタッフたちも心がけています。						
	言語 コミュニケーション	早口言葉やカード、ジェスチャーなどを通して周囲との協調性を磨きながらコミュニケーションを学べるようなプログラムを用意しています。失敗しても相手を責めるのではなく、笑顔で相手のミスも許し合える関係作りができる子どもたちになれるよう支援を行っています。						
	人間関係 社会性	相手の気持ちを勝手に決めつけないよう、思い通りにならず癇癪を起してしまわないように様々なプログラムを用意し、落ち着いて気持ちの整理ができるようになるようにサポートを行っています。その他にも地域の活動に参加することで相手とのちょうどいい距離感を認識したり、また、身の回りで起こりうる危険な事柄を予測ができるようになることで行動上の問題が減らせるように療育を行っています。						
家族支援	日頃、保護者様のお仕事で業務時間内に連絡が取れない場合は、連絡ノートを使い相談や支援内容などの情報を共有できるようにしています。			移行支援		ご家族・相談員や学校、その他関係機関などの情報共有を十分に行い、支援協力をしていきます。		
地域支援・地域連携	老人会の方との交流			職員の質の向上		朝、前日の様子等の報告と意見交換をし、支援に当たっている。		
主な行事等	餅つき、ひな祭り、母の日、父の日、縁日、敬老の日、ハロウィンパーティー、クリスマス、プール、おやつ作り、誕生日会、バレンタイン、豆まき、初詣、お出かけ（社会見学等）							